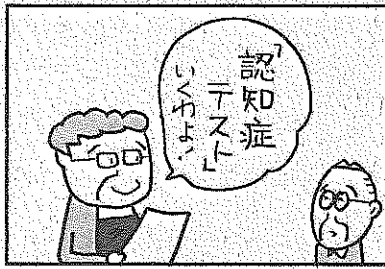


市老人クラブの3支部統合を決めた総会

くもりのち晴れッ! あしはらたいじ



老人クラブ連合会新体制に

地域福祉貢献目指す

みやま

みやま市の瀬高、山川、高田の各老人クラブ支部を一つにまとめた新体制の市老人クラブ連合会が誕生した。17日に市総合市民センター「MIYAMA」で発足総会を開き、会則や役員、事業計画を決定。健康増進や相互支援活動を通じて地域福祉への貢献を目指す。

同市は3町合併により2007年1月に発足。旧3町の団体が一つになる中、老人クラブは支部組織を主体に活動してきた。高齢化に加え地域の担い手不足や生活様式多様化もあり、加入者が減少。各支部に所属する老人クラブ数も減っているという。

発足総会には各支部の代表者らが出席。来賓の板橋聡真議員、松嶋盛人市長、金子志郎市社会福祉協議会長のあいさつに続いて議事に入った。

2024年度の事業計画、予算を審議し承認。役員は会長に松尾正幸さん(瀬高)、副会長に築地原米蔵さん(山川)、金子敏昭さん(高田)が選出された。事業はグラウンドゴルフ大会や料理教室、高齢者相互支援リーダー研修会など

を予定し、南筑後地域や福岡県の老人クラブ連合会とも連携して活動する。松尾会長によると、クラブ数は以前の5分の1ほどで会員数も減少。健康寿命の延伸が医療費や介護費の削減にもつながることから「高齢者福祉には高齢者の気持ちが一番分かる自分たちが先頭に立たないといけない。クラブでの活動は自分の健康にもなる。地域活性化にもなれば」と話した。

(高田裕子)